

課題番号：34

課題名		<p>廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」</p> <p>検討対象「性能評価」</p> <p>課題「性能評価」</p> <p>※参考：重要研究開発課題「⑥廃炉工程で発生する放射性物質の環境中動態評価」との関連あり http://www.dd.ndf.go.jp/jp/decommissioning-research/dr-committee/materials/06/doc1-2.pdf</p>
ニーズ		<p>望ましい状態とその理由</p> <p>（参考）関連する研究課題</p>
1	安全性の評価方法を選定する手法を構築したい。	<p>●既存の廃棄物と異なる特性を持っている事故廃棄物もあるため、廃棄物の特性に応じて適切な手順で安全評価技術を選定する知見や標準的な手法を整備することが望ましい。</p> <p>—</p>
2	安全評価を高度化したい	<p>●既存の廃棄物と異なる特性を持っている事故廃棄物もあるため、性能評価上の課題の検出と対策立案に関する技術、不確実性の小さい性能評価技術を開発・高度化することが望ましい。</p> <p>H27年度英知「高汚染吸着材廃棄物の処理処分技術の確立と高度化」</p> <p>課題リスト11/12「処分環境に留意したウラン化学種の整理」</p> <p>課題リスト11/12「不飽和帯における核種移行評価手法の高度化」</p> <p>課題リスト9/12「放射性セシウムの環境中変化と生体動態」</p>
3	評価パラメータを整備したい。	<p>●既存の廃棄物と異なる特性を持っている事故廃棄物もあるため、性能評価用の評価パラメータを整備することが望まれる。</p> <p>—</p>
4	廃棄体の品質を確認したい。	<p>●放射能インベントリの把握のため、難測定核種の放射能濃度が推定できることが望まれる。</p> <p>課題リスト9/12「スケーリングファクタ法の開発」</p>
関連する課題		<p>○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。</p> <p>○また、「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」と「汚染水対策」、「使用済燃料プールからの燃料取り出し」、「燃料デブリ取り出し」を結ぶ「キャラクタリゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。</p>